

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回郷育推進会議	
開催日時	令和5年5月10日（水）18:30～20:10	
開催場所	市役所本館 大会議室	
委員名	（1）出席委員 伊藤副会長、木本会長、東委員、柳田委員、山口委員、宇都宮委員、井上委員、濱田遼委員 （2）欠席委員 原尻委員、濱田真委員	
所管課職員職氏名	教育部長 城野 努 郷育推進課長 谷口 篤 郷育推進課郷育係長 坂本 剛章 郷育推進課スポーツ文化振興係 露谷 拓人	
会 議	議 題 （内 容）	○郷育推進課の主要事業の概要説明 ○今年度の郷育推進会議の活動について ○福岡ブロック社会教育委員研修会について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	4人
	資料の名称	○令和4年度 郷育推進課事業報告 ○令和5年度 郷育推進課主要事業 ○施策I コミュニティ・スクールの推進 ○福岡ブロック社会教育委員研修会ローテーション ○令和5年度福岡ブロック研修会スケジュール ○令和5年度市町村社会教育委員ブロック研修会実施計画書(案) ○令和5年度福岡ブロック社会教育委員研修会概要(案)
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	記録内容の確認方法：会長による確認	
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

事務局挨拶

1. 開会のことば
2. 部長あいさつ
3. 委嘱状の交付
4. 会長選任
5. 協議事項

●事務局

○郷育推進課の主要事業の概要説明

令和4年度事業報告を郷育推進課の係ごとに実施 (別紙参照)

令和5年度主要事業を郷育推進課の係ごとに実施 (別紙参照)

○今年度の郷育推進会議の活動について

●会長

事業数が多く分野も多岐にわたり理解が難しいかもしれないが、どの立ち位置で活動しているか理解していただければと思う。

立ち位置を理解するには令和5年度の主要事業に記載の組織図が大事になると思う。

別紙「施策Ⅰ コミュニティ・スクールの推進」について、ホワイトボードを使い説明。

○福岡ブロック社会教育委員研修会について

●会長

これが今年度のメインの協議事項になる。今回は理解していただくために説明が中心になる。

社会教育委員の研修大会について「福岡ブロック社会教育委員研修会ローテーション」を用いて説明。

今回は福津市が開催地にあたるため、主催者側の自覚を持ち、皆さんに参加していただきたい。

また、案内、受付等の作業に物理的に人の手がいるため日程の調整をお願いしたい。

研修の内容については、各地区に任せられている。昨年度までに大まかな内容を決めておく必要があったため、「令和5年度市町村社会教育委員ブロック研修会実施計画書」のとおり、前半は講話を行い、後半はパネルディスカッションを行う予定。

今までは、前半に講演、後半は実践発表を行っていた。昨年度担当の筑紫野市が後半にパネルディスカッションを希望し、全地区にパネラーとして出てもらうように依頼があった。そのため、ローテーション表で決まっている通りにならず、2年連続で担当を務める可能性もある。ただ、全体の意見を聞くことができるパネルディスカッションが好評であったため、福津市でもパネルディスカッションを行う予定で進んでいる。糸島市は負担が大きいことから断りの連絡が来ており、粕屋地区、筑紫野地区、宗像地区の3地区で行う予定でいる。

ここまでの昨年度に決まっている内容になる。

次に、なぜ、このテーマにしたのかについての話をさせていただく。

行政職員の方は、異動で担当が変わり、決まっていた話を何度も説明を行うなど手間が多い。また、担当している分野のことは分かっているが、全体像が分からずに手間が多い。例えば、内容が似ているイベントを違う部署がやっていることがある。他の地区でも同じような悩みを聞くことがあるため、それぞれの現状を話す機会になればと考えている。

社会教育の活動を行っている団体同士の組織的な繋がりについて、地区ごとの話を聞くことで全体像を見ることができるともかもしれない。行政組織と社会教育組織の繋がりをどう構築していくか、そこから人がどうつながっていくかが課題である。

今回皆さんにご協力をいただく以上、経緯をしっかりと把握してほしい。

「令和5年度福岡ブロック研修会スケジュール」についての確認。

●副会長

説明に対しての補足になるが、「施策I コミュニティ・スクールの推進」にあった通りに福津市の強みであるコミュニティ・スクールと郷育推進会議の社会教育と両方を元気にするために一体的に行っていきたい。どうやったら一体的になるかを、それぞれのパネルディスカッションで出る所から仕組み・工夫・課題を共有し、ヒントを見つけることが出来る会議になればいいと考えている。

また、今回大事になるキーワードは「持続可能」だと思っている。コミュニティ・スクールを持続可能にするとなると、例えば、校長先生が異動した瞬間にガラリと変わるのは困る。

基本的に先生や職員は異動する。一体的に行うことを考えると軸足は地域と思われるが、地域も事務局の市の職員も異動がある。しかし、郷育推進会議、または社会教育の会議がしっかりした組織であれば、異動があっても価値あるものが継続していく、という考え方。それをどう行っていくかというのが1つ。

また、組織を上手く作っても、やがて人は交代していく。その組織の中で動く人の「人の継続性」をどうするかも大事になってくる。なので、研修の前半に話す内容を「持続可能な社会教育活動のための組織づくりと人づくり」で考えている。人づくりの肝になってくるのが、地域コーディネーターだと思っている。福津市は他の市町に比べると、地域コーディネー

ターが多くいる。そして、統括する立場の方もいる。他の市町では1つの地域で1人も珍しくない中で、福津市はチームで動いていることで、人が交代するときも新しい人と今までの人が伴走しながら継続することができる良さがある。それと、郷育カレッジは正に人づくりのカレッジであり、人を作っていく仕組みを福津市は持っている。そこで組織づくりも整えることができれば、持続可能な組織づくり人づくりという1つの形を示すことができるのではないかと思っている。

●会長

研修会を経て得たものを、それぞれの団体にフィードバックしていければいいと思う。

説明が多くなってしまったがそれぞれ感想があれば言っていたきたい。

●委員

地域婦人会では、研修会があることを周知している。

●委員

福間南小学校の入学式の時に、地域コーディネーターの話を聞いていたが、私の認識と違っていた。学校で人手が足りない時にご協力いただきたいので登録をお願いするという説明だった。おそらく、保護者向けの説明だったからだと思うが、少し違和感があった。この1年間で地域コーディネーターの役割など勉強していければと思う。

●委員

人口が増えている＝地域コーディネーターの数が増えているのか疑問を感じた。

●委員

神興小学校の全校生徒と福間南小学校の1年生の数が同じで単純に比べることは出来ないと思うが、ボランティアの数が足りない時に地域の人に協力をお願いをしようと計画している。地域の方で何かできることがある人を発掘していければと思う。

●委員

文化協会という一つの団体としてどう関わっていくか、早く実践してみたいと思う。

●委員

福間南小学校校区でボランティアの人材バンクを作ろうとしているが、他の校区も過大規模校であり他の校区も含めた人材バンクができればと動いている。コーディネーターの役割として、先生と地域を繋ぎふるさと学習も行っている。

●会長

人材バンクの話は昨年度の会議でも度々出ていた。例えば、文化協会が人材バンクの中に入れば子どもたちに文化を伝承することが出来る。郷育カレッジも要請があれば講師を派遣することが出来る。情報として伝えているが、今年度から社会教育の会議に地域コーディネーターの方も入り、今からがスタートになっていくと思う。

組織同士の繋がりがしっかりしていれば、人が変わっても継続していくことができると思うので、大変だと思うが組織同士の繋がり作りも粘り強くやっていければと思う。

また、今年の研修会は勉強の機会やいろいろな人と繋がる機会としてできればと思う。

○次回開催日について

7月12日（水）18時30分